

一 般 質 問 通 告 書

2025 年 11 月 21 日

前
午 8 時 54 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

2025 年 11 月 21 日

湖西市議会議長 神谷 里枝 様



湖西市議会議員 相曾桃子 ㊞
(署名又は記名押印)

質 問 方 式 (○を付ける)	<u>一問一答</u> ・一括の質問答弁
番号	主 題
1	医療的ケア児の支援体制について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	医療的ケア児の支援体制について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) わが国では、少子化が加速しているものの、医療の高度化により医療的ケア児数は増加、在宅医療の重症度も上昇している。 令和7年度市民意識調査では、「障がいのある人にとって住みやすいまちである」について、「わからない」が32.9%と最も多く、「思う」が4.3%、「まあまあ思う」が16.9%。「あまり思わない」が29.4%、「思わない」が15.4%であった。障がいのある人に対しての理解や住みやすいまちと言い切れない現状が確認された。 また、医療的ケア児の保育園関係は保育幼稚園課、障がいのあるこどもの家族への支援は地域福祉課、就園前までの個別支援はこども未来課と複数の課が関係することで、医療的ケア児の支援体制が十分に整理されていない現状がある。 (質問の目的) 医療的ケア児とその家族が、地域で安心して暮らすことができ、利用する制度や支援が分かりやすい「地域共生社会」を実現するため。 (質問事項) 1, 当市における医療的ケア児の全数は把握されているか、また年間どのくらいの医療的ケア児が出生しているか伺う。 2, 当市における医療的ケア児とその家族に対しての支援をどのように行っているか伺う。 3, 当市における医療的ケア児等コーディネーターの役割を伺う。 4, 当市における保育所等での医療的ケア児の受け入れ状況について伺う。 5, 湖西市こども計画では、「公立こども園1園をモデルに指定し、施設・備品の整備、関係機関等との連携体制を構築し、医療的ケア児を保育するための体制を整備します。」と明記されているが、今後の進め方や課題になりそうな点について伺う。 以上	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 11 月 21 日

前
午 10 時 57 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 7 年 11 月 21 日

湖西市議会議長 神谷里枝 様



湖西市議会議員 佐原 佳美



(署名又は記名押印)

質 問 方 式 (○を付ける)	☒ 一問一答 ・ ☐ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	発達障害や医療的ケア等、支援が必要な子どもと家族に対する支援体制の拡充について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	発達障害や医療的ケア等、支援が必要な子どもと家族に対する支援体制の拡充について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 私は以前より、<u>市内の発達障害や医療的ケアが必要な子どもを養育している家族を支援する団体（ピアサポート含）</u>から、例会に招かれ、当事者家族の行政等に対する相談に乗っている。そこで出された課題や要望は市の担当課に繋ぎ、解決が容易でないものは、一般質問で支援制度の改定や新たな要望を訴え、実現が図られた施策もあった。 今回は直接、ご家族より医療的ケア児の医療と保育の相談を受けたので、相談者も参加している同団体に報告したところ「発達障害・医療的ケア児の子育てと支援体制に関する実態調査」を予定している。まず、支援団体に所属している家庭にアンケートを行うので、そこで出された意見や要望も聴いて欲しいとのことで、後日、結果が届いた。 質問に至ったアンケート結果の内容は、 ①保護者が複数の部署を行き来することなく、必要な支援や制度の案内を一元的に受けられる相談窓口にして欲しい。 ②市役所での相談で「分からない」と返答されたことがある。分からなければ、後日でよいから調べて教えて欲しい。 ③診断を受けていないようだが、加配の支援員を必要とする子どもが幼稚園にいる。早期に適切な支援サービスに繋がられる指導はできないのか。 ④子どもの年齢や発達段階に応じた情報が欲しい（就園就学前情報等） ⑤市内に放課後等デイサービス等の事業所が少なく、通所日数を減らされたり、障害の度合いによっては、市外の事業所に行かざるを得ない状況になっている。市内に事業所を増やしてほしい。市内であっても家族送迎の負担が大きい。 ⑥支援が必要な子どもの兄弟姉妹へのケアの必要性や親のレスパイトケアのためにもショートステイを頼みたいが市内に短期入所施設が無い。 ⑦支援を必要とする子どもが入園、入学前に、専門医に診断書を書いてもらうために浜松市の病院に初診の予約をすると数か月待ちの現状。ま	

た、医療的ケアが必要な子どもは緊急時に市内にかかりつけ医が欲しいものの、市内医療機関のサポートが受けられずに苦慮している。

これらを踏まえて質問する。

(質問の目的)

支援を必要とする子どもたちの命と成長を支え、その家族が孤立して追いつめられることなく生活できる支援体制を整備して欲しい。

(質問事項)

1. (発達に課題のある子どもの相談支援窓口として開設した)新所子育て支援センターの相談受付から関係機関との連携・支援までの手順について伺う。
2. 「にこりん」における相談内容の内訳と件数は。
3. 支援制度を一元的に案内できる窓口設置や庁内情報の一元管理の可否について伺う。
4. 市民感覚として相談支援窓口に社会福祉士・臨床心理士等の専門職の配置が進まない印象だが、現状はどうか。
5. 支援員加配対象児の中で医療・福祉機関につながっていない子への早期支援につなぐための取組について伺う。
6. 支援が必要な子ども・家族の個別支援プログラム作成や関係機関連携会議の実施状況について伺う。
7. 放課後等デイサービスの不足による利用制限や市外利用の現状把握を踏まえ、今後の対策は。
8. 市内に児童のショートステイ施設が無い現状への今後の対応は。
9. 支援を必要とする子どもの入園・入学前の診断書取得が数か月待ちであり、医療的ケア児が市内で緊急時に頼れる医療機関を確保できない現状を市としてどのようにお考えか。

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 11 月 21 日

前

午 / 時 / 2 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 7 年 11 月 21 日

湖西市議会議長 神谷 里枝 様

湖西市議会議員 二橋 益良



質 問 方 式 (○を付ける)		一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題	
1	湖西市における経済対策について	
2		
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	湖西市における経済対策について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 近年の国内における経済情勢は、社会変化と物価高において国民の所得がついていけない状況下で、政府の経済対策が問われています。世界的に資本社会の原点が問われているといっても過言ではありませんが、あまりにもグローバル経済が進み自由経済の根本を揺るがしかねない状況であり、そもそも資本社会の自由経済は理想概念があまりにも強く世界経済の成熟度が追いついていないことがいえると思います。貿易国の日本においては、企業の世界戦略において多くの内部留保資金の確保により所得に反映できない中、国民は、物価高によりダブルパンチを受ける状況ではないでしょうか。しかし、経済発展により GNI（国民が国内外で得た総所得）を反映させ国民が豊かにならなければなりません。そこで湖西市における戦略として市と商工会等により経済対策をより強固なものにする必要があります。産業育成により市民の豊かさを反映させることは、市の施策が重要であると思います。特に商工会に所属する中小零細（卸売業・サービス業・小売業では従業員 5 人以下・製造業・建設業などは従業員 20 人以下）企業・農業・水産業対策は、市の喫緊の課題として対応が望まれます。 (質問の目的) 湖西市の現状と経済対策について施策をお聞きします。 (質問事項) - 湖西市における社会経済の現状認識をお聞きします。 - 市と湖西、新居商工会の連携についての現状をお聞きします。 - 湖西、新居の商工会が活躍できるような戦略を想定していますか。 - 湖西、新居商工会の合併協議における市の役割をどう考えていますか。 - 夜間、創業・経営相談会等の鷺津駅前商店街協同組合サポの活用状況と今後の展開はどうですか。	

6. 市内の経済発展の底上げには、市の経済対策が不可欠と思いますが今後どのような施策をお考えですか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 11 月 25 日

前

午 0 時 48 分 受付

後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

7 年 11 月 25 日

湖西市議会議長 神谷 里枝 様

湖西市議会議員 馬場 衛 ㊟

(署名又は記名押印)

質 問 方 式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	湖西市の道路整備事業の考えと取り組みについて
2	「湖西市スポーツ推進計画」の取り組みについて

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	湖西市の道路整備事業への取り組みについて
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 今回の一般質問では、湖西市の道路（道）について視点を向けてみた。 道路（道）にはそれぞれの役割がある、日常生活に欠かせない生活道路、通学路での安全性のある歩道、通勤のための自動車道、物流を担う産業道路、災害時に必要とする高規格道路など道の機能は多種多様である。市の状況はというと、朝夕通勤時の渋滞、歩道のない通学路、日常生活における歩道未整備も道路等安全が確保された道路とは思えない。 湖西市は、公共交通が充実しているとは言えない状況であり、日常生活、移動手段としての自動車は欠かすことが出来ない状況にあり、車社会の町と言えることから、道路整備の推進は市の発展にも重要と認識するところである。 市の現情を見てみると、道路の維持管理において十分であるとは言い難い。 道路に関係する事故により、損害賠償事案も年間に数件発生している状況から道路維持管理に課題を残す。 このことから、市民の安心・安全な市民生活を守る観点から市の道路行政の取り組みについて確認をする。	
(質問の目的) 日常的に車輛等を必要とする湖西市の市民生活に直結する安心安全な道路（道）の整備を推進するため。	
(質問事項) - 湖西市全般の道路インフラについて、所管課として課題も含め道路の現状をどの様に捉えているのか伺う。 - 都市計画道路5路線の進捗状況と整備の優先順序、整備期間、完了予定について伺う。 ア．鷺津駅谷上線（事業中）	

- イ．大倉戸茶屋松線（事業化検討中）
- ウ．表鷺津漁港線（事業化検討中）
- エ．浜名弁天線（事業化検討中）
- オ．南部幹線（事業化検討中＝県事業）

- 3．事業を進めるための所管内での検討はどのような頻度で行われているか、課題解決のための議論はどうか。
- 4．道路事故防止のための対策と、取り組みについて伺う。
- 5．事業予算の確保の為の考えはどうか。

番号	主 題
2	「湖西市スポーツ推進計画」の取り組みについて
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 「湖西市スポーツ推進」計画については、5年前の令和2年9月議会で一般質問をさせていただきました。 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が新型コロナウイルス感染症で一年先送りされ、競技に参加する多くのアスリートに困惑を与えたこと鮮明に思い出します。 翌年、日本中を感動の渦に取り込まれた、東京2020オリンピック・パラリンピックが見事開催され、日本国民に感動と勇気を与えてくれました。 コロナ禍が一応落ち着いて来たところであるが、オリンピックの効果を受け、スポーツに参加する児童の増加を期待したところではありますが、少子化の影響も含めスポーツ人口の減少は、少年団などへの入団にも影響が大きくなっている。 今、スポーツの振興に向けた市の取り組みが求められているところである。 「湖西市スポーツ推進計画」は明日の湖西を創るひとづくりを基本理念に置き策定されています。市民の健康増進をお手伝いし、活動したい、運動したいという要求に応え、市の実情にあったスポーツ推進施策を体系的・計画的に推進するとしている。 ○基本目標⇒誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことが出来る生涯スポーツ文化の推進 ○基本施策⇒2項目 具体的な取り組み⇒7項目 を掲げ各項目の活動等に日々努められていることは認識するところであります。 第2次湖西市スポーツ推進計画の最終年度に当たり事業計画の進捗と内容の成果を確認したい。	

(質問の目的)

「湖西市スポーツ推進計画」の基本目標・基本施策を検証し、次期「湖西市スポーツ推進計画」策定の確認するため

(質問事項)

1. 「湖西市スポーツ推進計画」におけるこれまでの具体的な実施成果はどうであったか。
2. 次期「湖西市スポーツ推進計画」策定の時期と考えるが、内容とスケジュールを伺う。
3. スポーツ推進委員による、ニュースポーツの実績と普及の状況について伺う。
4. 前期推進計画では、ライフステージに応じたスポーツ活動推進のなかで、日本トップレベルの選手を招き、室内棒高跳び大会を開催し、選手の育成と競技力の向上に努めるとあったが、第2次推進計画では大会などの開催が消えた要因を伺う。全国でも数少ない施設の有効利用の考えを伺う。
5. 体育施設管理を指定管理者に委託をし、民間活力を生かしてスポーツ教室を充実とあるが実績はどうか。利用者からの声をどのように把握しているか。施設整備の考えはどうか。
6. ニュースポーツ等を活用した、特に地域スポーツの活性化に取り組むことを期待したいが、所管課としての考えはどうか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 11 月 25 日

前

午 0 時 50 分 受付

後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 7 年 11 月 25 日

湖西市議会議長 神谷 里枝 様



湖西市議会議員 山口 裕教



(署名又は記名押印)

質 問 方 式 (○を付ける)	☐ 一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	地域高齢者への支援体制向上について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	地域高齢者への支援体制向上について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 地域高齢者の支援について重要な事は、住民同士が支え合いながら、安心して、幸せに暮らせる地域を作る事であり、その為には住民、福祉関係団体、社会福祉協議会、行政などがお互いに協力し、それぞれの役割を担いながら、地域の課題を解決していくことが求められると考えます。しかも近年では少子高齢化が進み 2040 年には湖西市の 5 人に 1 人が 75 歳以上の後期高齢者となる事が予測されます。こうした社会状況を踏まえ、地域で支え合い、助け合いながら快適な生活を送れるように高齢者支援体制の向上を図る事が重要と考え、質問致します。 (質問の目的) 地域住民が助け合い、高齢者への支援体制を充実させ、高齢者の方達が安心して健康に暮らして行けるための質問です。 (質問事項) 1. 高齢者あんしんサポート事業（高齢者の見守り）では、新聞・郵便・金融等多くの事業者と協定した配達員と協力し高齢者宅の訪問時に異変等をチェックしますが、協力業者との情報共有や連携の強化をどの様に図っていますか。また、成果をお伺いします。 2. 高齢者の見守りについては、地域の皆さんの協力が最も大切だと考えますが、協力して頂ける近所の方々が、抜けなく確認出来る様、挨拶や声掛けの強化をどの様に進めていますか。また、成果をお伺いします。 3. 高齢者の見守りと共に居場所づくりも非常に大切で、お茶や珈琲を飲みながら楽しくおしゃべりし、元気を充電したり、見守り側が直に健康チェックができ、私の住む地域でも毎月開催していますが、このような居場所を地域ごとに増やして行く考えがあるかお伺いします。	

4. 愛知県蒲郡市では、地域の配食業者や管理栄養士と連携し、高齢者の健康寿命延長を目的に共同開発した“カムカム弁当”を教材として「オーラルフレイルとサルコペニア」に着目し、個別に効果的な健康支援を実施しており、私も確認した所、湖西市でも同様に健康食事講座等を実施していますが、湖西市では更に一歩進め、健康支援配食サービスを進めて行く考えがあるのかお伺いします。
5. 神奈川県大和市では、一人暮らしの高齢者の増加に対し、社会的孤立や閉じこもり傾向の悪影響を捉え、外出促進や居場所づくり等に努め「大和市おひとりさま支援条例」を制定し支援姿勢を明確に示していますが、湖西市でもこの様な取り組みを進める考えはあるのかお伺いします。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 11 月 25 日

前

午後 0 時 53 分 受付

後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 7 年 11 月 25 日

湖西市議会議長 神谷 里枝 様



湖西市議会議員 福永桂子



(署名又は記名押印)

質 問 方 式 (○を付ける)	☒ 一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	児童生徒の安全を守る通学路対策の強化について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	児童生徒の安全を守る通学路対策の強化について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 通学路の安全確保は、内閣府、警察庁、文部科学省、国土交通省などが連携して取り組む国レベルの重要課題であり、全国的に安全性が問われています。湖西市内においても、通学路の危険箇所が地域ごとに多様化し、児童生徒の登下校の安全・安心に支障をきたしているのが現状です。地域固有の多様な課題が発生しています。路面標示の薄れ、カーブミラーの老朽化、交通量が多く危険、抜け道のスピード超過など、交通安全上の問題。歩道未整備区間、見通しが悪く滑りやすい急勾配な地形など、構造上の問題。さらに、野生動物の出没増加など、地域特有の新たなリスクも確認されています。 このような多様な危険に対し、通学路の安全対策は「交通安全」対策にとどまらず、「防犯」や「防災」の視点も不可欠です。国が求める安全対策の強化が進む上で、関係機関の合同点検と継続的な改善が重要であり、各主体の役割における協働 PDCA が求められています。また、IT 活用による通報・オープンデータ化が児童生徒の安全確保に効果をあげている例もあります。湖西市においても、地域の気づきを即時に拾い、対策へつなげる市民参加型をさらに推し進め、安全性と行政の説明責任を高める必要があります。 通学路の安全対策は、児童生徒と保護者、学校だけでなく、市全体の安心・安全、地域コミュニティの信頼、そして子育て世代の移住・定住促進に直結します。安全な通学環境は「選ばれるまち」の重要条件であり、企業や人材の呼び込みを後押しする“まちの基礎インフラ”であると確信しています。 (質問の目的) 湖西市における通学路の現状と課題を整理し、具体的対策と体制づくりについて明らかにし、安全対策強化に向けて提案します。 (質問事項)	

1. 市内の通学路における、直近3年間の点検実績と危険箇所・対策必要箇所の現状について伺います。
2. 地域住民・学校・保護者など市民の声を拾う通報・要望ルートの現状と、直近2年間の通報件数を伺います。
3. 通学路安全確保に向けた、関係機関・団体との協働体制やPDCAサイクルの運用状況と課題について伺います。また、連携して実施した対策の効果検証について、検証の主体、用いている指標、実施頻度をどのように位置付けているのか伺います。
4. 通学路の安全対策における、ハード面とソフト面（運用）双方の課題をどのように認識しているか伺います。
5. 通学路の安全対策における“交通安全・防犯・防災”の三つの観点について、現状の取り組みと今後の連携体制の課題を伺います。
6. 野生動物が通学路に出没しているが、現状の対応と課題を伺います。
7. 通学路安全対策を強化するため、地区別課題として、神座地区、青平地区、岡崎地区の通学路のほか、岡崎小学校正門、知波田小学校裏門の現状認識と具体的な改善計画を伺います。
8. IT活用による市民参加型の安全対策として、危険箇所を共有する“通学路デジタルマップ化”と、地域の声を即時に拾う“通学路ホットライン（仮称）”の導入について、市の見解を伺います。
9. 通学路の安全確保を「まちづくりの基礎インフラ」と位置づけ、予算措置を含めた組織横断的な“子供たちが未来にわたって安心して通学できる体制の確立”が必要と考えるが、市の見解を伺う。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること